

12. 中国の国防白書



2019年7月24日、中国政府は4年ぶりとなる国防白書を発表した。中国の核兵器使用に関する宣言的政策について、表現の変化が現れるかどうかに関心をもたれたが、変化はなかった。先行不使用、核兵器を持たない国にたいしては無条件に核攻撃、核攻撃の威嚇をしない、などの政策は維持されている。

◆ 新時代における中国の国防(抜粋) ◆

中華人民共和国国務院新聞辦公室(2019年7月)

(前略)

II. 新時代における中国の防衛的国防政策

中国が社会主義国家であるという性質、平和的發展の道を歩むという戦略上の選択、独立自主の平和外交政策、「和を以て貴し」とする中華文化の伝統によって、中国は防衛的国防政策を一貫して実施してきた。

中国の主権、安全、發展の利益を断固として守る

これが新時代において中国が目指す国防の基本的な目標である。

中国の国防が目指す目標は以下の通りである。

- 侵略を抑止し、抵抗する。
- 国家の政治的安全、人民の安全、社会の安定を守る。
- 「台湾独立」に反対し、阻止する。
- 「チベット独立」や「東トルキスタン」樹立等を主張する分裂勢力に打撃を与える。
- 国家の主権、統一、領土、安全を守る。
- 中国の海洋權益を守る。
- 宇宙・電磁・サイバー空間等における中国の安全に関わる利益を守る。
- 中国の海外における利益を守る。
- 中国の持続可能な發展を支える。

中国は国家主権と領土を断固として守る。南シナ海の島嶼、釣魚島及びその付属島嶼は中国固有の領土である。中国は南シナ海の島嶼と岩礁にインフラを建設し、必要な防衛的戦力を配備し、東シナ海の釣魚島海域で哨戒を実施しているが、これは法に依拠した国家主権の行使である。中国は歴史的事実と国際法の尊重を基礎として直接の関係当時国との交渉・協議によって関係する紛争の解決に尽力している。中国は引き続き地域諸国と共に平和と安定を維持し、各国が国際法に従い航行と上空飛行の自由を享有することを断固として擁護し、シーレーンの安全を保障する。

台湾問題を解決し、完全な国家統一を達成することは、中華民族の根本的な利益であり、中華民族の偉大な復興を実現するために不可欠な要請である。中国は「平和的統一、一国二制度」の原則を堅持し、兩岸関係の平和的發展を促進し、中国の平和的統一のプロセスを推進する。一方、中国は国を分裂させるいかなる試み・行動にも、いかなる外国勢力の干渉にも断固として反対する。中国は統一しなければならず、また、必ず統一する。(略)

断固として永遠に覇権を唱えず、永遠に膨張政策をとらず、永遠に勢力範囲を求めない

これが新時代の中国国防の際立った特色である。

大国になっても好戦的になれば必ず滅ぶ。中華民族は一貫して平和を愛してきた。近代以来、中国人民は侵略と戦乱に苦しみ、平和の価値と經濟發展の差し迫った必要性を学んだ。

(中略)

新時代の軍事戦略方針を徹底的に実施する

これが新時代における中国国防の戦略指針である。

新時代の軍事戦略方針は、防御、自衛、攻撃後の対処といった原則を堅持し、積極的防御を実行し、「我々は攻撃されなければ、こちらから攻撃しないが、もし攻撃されれば、

確実に反撃する」という立場を堅持し、戦争の封じ込めと戦争の勝利を両立させ、また、戦略上の防御と戦闘における進攻を共に両立させることを強調する。

中国軍は新時代の軍事戦略方針を徹底的に実施し、中国共産党と国の一般戦略に沿って貢献し、総合的な安全保障観を採用し、危険、危機、戦争に対する意識を強化し、戦略的競争における新たな状況、国家安全保障の新たな要請、現代の戦争の新たな形態に積極的に適応し、新時代の軍隊の使命と任務を効果的に遂行する。

中国が直面する安全保障上の脅威に対応するため、中国軍は武力紛争への備えを盤石にし、新時代における戦闘能力を全面的に高め、防御に立脚し、多分野を統合的に計画し、バランスのよい安定した新時代における軍事戦略に基づいた配備を実施する。中国の国防はすべての中国人民が責任を負うという考えを堅持し、人民戦争の戦略・戦術と内容・方法を革新することにより、人民戦争の総合的な威力を十分に発揮する。

中国はいかなる時、いかなる状況においても核兵器を先行使用しないこと、非核保有国と非核地帯に対しては無条件に核兵器を使用あるいは使用の威嚇をしないことを確約する核政策を一貫してとっている。中国は核兵器の最終的全面的禁止と徹底的な破壊を主張する。中国はいかなる国とも核軍拡競争はせず、一貫してその核能力を国の安全に必要な最小限に留めている。中国は自衛のための防御的核戦略を堅持する。その目的は他国が中国に対して核兵器を使用あるいは使用の威嚇をすることを抑止することによって国の戦略的安全を確保することにある。（強調は訳者）

中国の特色のある軍隊強化の道を堅持する

これが新時代における中国の国防が発展する道である。

中国の国際的地位に見合い、国家の安全と発展の利益の双方に適した強固な国防力と強大な軍隊を建設することは、中国の社会主義的近代化建設の戦略的任務である。中国は平和的発展の道を進むための安全保障を堅持するが、これは歴史的経験を総括した結果生まれた必然的な選択である。

新時代の中国の国防と軍隊の建設は習近平の強軍思想と戦略思想を隔々まで貫徹させ、軍隊の政治的忠誠心の強化、改革による軍隊の強化、科学技術による軍隊の強化、法に依る軍隊の統制を堅持し、戦って勝てる能力に焦点を当て、機械化と情報化を融合的に発展させ、軍事における情報化の発展を加速し、中国の特色を備えた近代化された軍事システムを構築し、中国の特色のある社会主義軍事制度を改善・発展させ、新時代の使命と任務を達成できる能力を不断に高める。

新時代における中国の国防と軍隊建設の戦略目標は以下の通りである。

- 2020年までに基本的に機械化を実現し、情報化は大きな進展を見せ、戦略的能力は大きな発展を遂げる。
- 国の近代化の進展と歩調を合わせて、軍事理論の近代化、軍隊の組織形態の近代化、軍事要員の近代化、武器装備の近代化を全面的に推進し、2035年までに国防と軍隊の近代化を基本的に完了させるよう尽力する。
- 21世紀半ばまでに人民軍をあらゆる面において世界一流の軍隊にする。

(中略)

結語

新時代における中国の国防は、習近平の強軍思想の指導のもと、中国の特色のある強軍の道に沿って、あらゆる面において世界一流の軍隊を建設するという偉大な目標に向かって勇気を奮って前進している。中国軍はすべての脅威と挑戦に打ち勝つ決意、自信、能力を有している。中国軍は中華民族の偉大な復興というチャイニーズドリームの実現のために強力な戦略的支えを提供し、人類運命共同体の構築のためにより大きな新たな貢献をする。(英語テキストから翻訳し、中国語テキストによって修正した。)

出典

英語テキスト http://www.xinhuanet.com/english/2019-07/24/c_138253389.htm

アクセス日：2020年3月20日

中国語テキスト http://www.gov.cn/zhengce/2019-07/24/content_5414325.htm

アクセス日：2020年3月21日